

小論文試験問題

- 1 情報の経済学に関する次の問いに答えなさい。
  - (1) 情報の非対称性から生じる問題とそれを防ぐ方法について説明しなさい。
  - (2) 情報の不完全性から生じる問題とそれを防ぐ方法について説明しなさい。
  
- 2 名だたる企業の不祥事が報道されることがしばしば起こっている。①企業の社会的責任(CSR)とは何かを解説し、②ここ 2 年以内に報道された企業不祥事の概要を述べ、③その原因と解決策を考察しなさい。
  
- 3 課税要件のひとつである税率には、大きくわけて、比例税率と累進税率の二種類があります。所得税、法人税、相続税(贈与税)および消費税のそれぞれについて、比例税率と累進税率のいずれが採用されているか述べるとともに、その理由について説明してください。
  
- 4 以下の質問に答えなさい。
  - (1) 日本における現行のリース取引に関する会計処理について説明しなさい。
  - (2) 現在日本では、リース取引に関する会計基準の改訂が公開草案として公表されており、使用権モデルに基づく会計処理が提案されている。当該公開草案が適用となった場合、どのような影響が考えられるか、財務諸表の利用者および作成者の視点からあなたの考えを述べなさい。

小論文試験問題

- 1 情報の経済学に関する次の問いに答えなさい。
  - (1) 情報の非対称性から生じる問題とそれを防ぐ方法について説明しなさい。
  - (2) 情報の不完全性から生じる問題とそれを防ぐ方法について説明しなさい。
  
- 2 名だたる企業の不祥事が報道されることがしばしば起こっている。①企業の社会的責任(CSR)とは何かを解説し、②ここ2年以内に報道された企業不祥事の概要を述べ、③その原因と解決策を考察しなさい。
  
- 3 課税要件のひとつである税率には、大きくわけて、比例税率と累進税率の二種類があります。所得税、法人税、相続税(贈与税)および消費税のそれぞれについて、比例税率と累進税率のいずれが採用されているか述べるとともに、その理由について説明してください。
  
- 4 わが国の消費に対する一般税である消費税において、2023年10月1日よりインボイス制度が導入されています。この制度の意義について、従来の制度との比較を踏まえて論じてください。

5 以下の質問に答えなさい。

- (1) 日本における現行のリース取引に関する会計処理について説明しなさい。
- (2) 現在日本では、リース取引に関する会計基準の改訂が公開草案として公表されており、使用权モデルに基づく会計処理が提案されている。当該公開草案が適用となった場合、どのような影響が考えられるか、財務諸表の利用者および作成者の視点からあなたの考えを述べなさい。

6 以下の質問に答えなさい。

- (1) 税効果会計の目的について説明しなさい。
- (2) 税効果会計の方法には、繰延法と資産負債法がある。それぞれの方法について説明をするとともに、日本の会計基準ではどちらを採用しているのか説明しなさい。
- (3) 繰延税金資産の回収可能性に関する判断基準について説明しなさい。